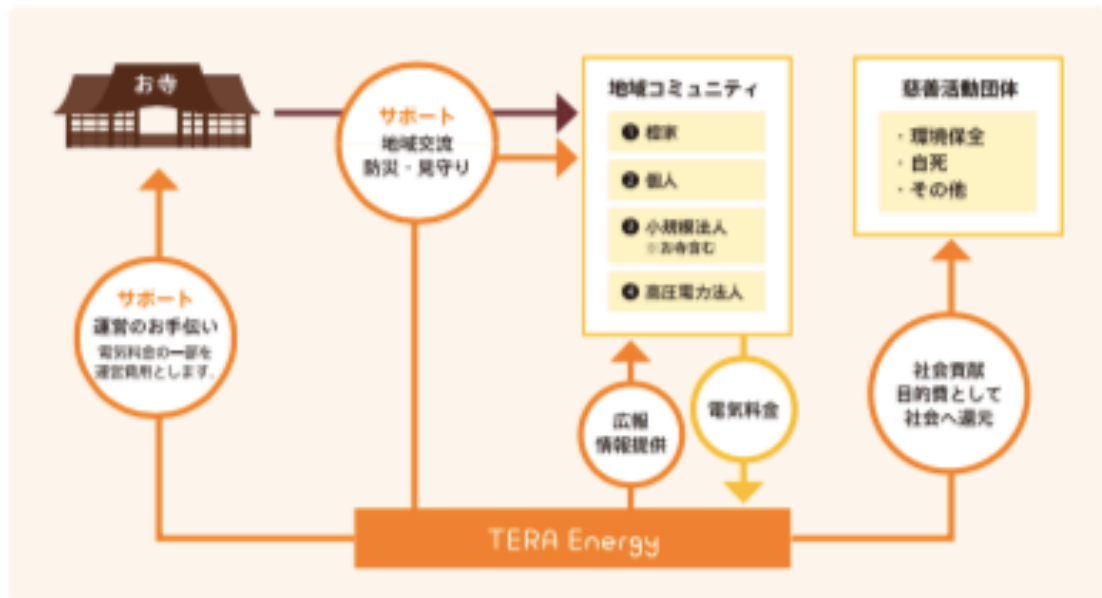
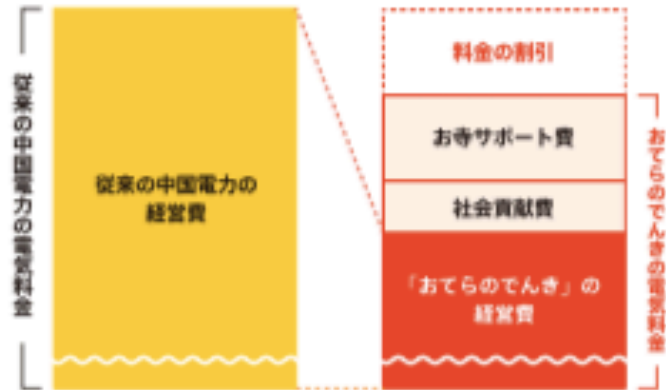


「おてらのでんき」のしくみ

「おてらのでんき」は、経営費の削減によって、電気料金を買い手（料金の割引）と世間（お寺サポート費・社会貢献費）に還元する新たな仕組みです。広告料や経費など、コスト面を徹底して抑えることで、電気料金の割引、お寺のサポート費用、社会貢献費を捻出しています。



サポートモデル

【檀家 100 件】

〈檀家・個人〉100 件契約
100 件 × 12 万円 (月 1 万円) × 2.5% = 30 万円

〈小規模法人〉20 件契約
20 件 × 24 万円 (月 2 万円) × 2.5% = 12 万円

〈高圧法人〉2 件契約
2 件 × 240 万円 (月 20 万円) × 2.5% = 12 万円

年間サポート費用：54 万円

【檀家 50 件】

〈檀家・個人〉50 件、〈小規模法人〉10 件、〈高圧法人〉1 件契約
年間サポート費用：約 27 万円

【檀家 200 件】

〈檀家・個人〉200 件、〈小規模法人〉40 件、〈高圧法人〉4 件契約
年間サポート費用：約 108 万円

【檀家 300 件】

〈檀家・個人〉300 件、〈小規模法人〉60 件、〈高圧法人〉6 件契約
年間サポート費用：約 162 万円

※ 「おてらのでんき」パンフレット抜粋

具体例（2018年10月25日時点）

A 寺（広島県東広島市） ○○寺作戦会議の実施

住職に本事業についてご賛同いただき、弊社がファシリテーターとなり、住職と仏教壮年会（檀信徒の壮年男性のグループ）の有志と、地域の課題やこれからのお寺の在り方について意見交換会をする作戦会議を実施しました。



[テーマ]

- ・ 地域の困りごと（地域課題）
- ・ 「こんなお寺になってほしい」（お寺の未来像）

[地域課題]

- ・ 少子高齢化が進み若者が集落に居ない。
- ・ 関係性の希薄化。昔は隣近所のことを大方把握していたけれど、地域の集まり事に参加しない人も増えて、最近はよく知らない人も増えている。

[お寺の未来像]

- ・ 子どもや若者がお寺に来てほしい。そういう世代が関心をもってくれる取り組みを行なっていきたい。
- ・ 貧困家庭の子どもたちに対して、寺子屋(教育を通した格差是正の取り組み)を実施したい。
- ・ お寺の資金面の透明化など、積極的に情報公開をして欲しい。



[今後の流れ]

作戦会議で出た意見をまとめて、弊社がおてらサポート費用を活用した取り組み案を提示する。それをもとに、住職・檀信徒と対話・意見交換をし、合意形成のうえ、取り組み内容を決定する。

B 寺（広島県三次市） 過疎地域の草引きと雪かきを行なう

住職には事業についてご賛同いただき、お寺の総代長（檀信徒から選ばれる代表者）、仏教婦人会（檀信徒の女性のグループ）の会長と、地域の課題について意見交換をおこないました。その意見をもとに、おてらサポート費用を活用し、地域の草引きと雪かきを行なうことが決定しました。

〔地域課題〕

少子高齢化が進みお寺や地域の草引きと雪かきを担う人材がいない。近隣の村は、数年前に地域で全戸が草引きをしない取り決めをして、廃村の様な雰囲気になってしまっている。

〔サポートプランの内容〕

住職、お寺の総代長、仏教婦人会会長が発起人となり「〇〇エナジークラブ」を結成。おてらサポート費用を〔地域の草引きと雪かき〕をする人件費に充てる。また、弊社がコーディネーターとして、ボランティア団体と地域の連携を模索していくことを予定している。



〔今後の流れ〕

この取り組みについて檀信徒全体に説明会を実施する。賛同する檀信徒には〔おてらのでんき〕に電力切り替えの予約をしてもらい、「〇〇エナジークラブ」に入会してもらい、会員とともに規約をつくるなど、「〇〇エナジークラブ」の取り組みを推し進める。